

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援事業所 ラビット☆キッズ			
○保護者評価実施期間	R7年 11月 1日 ~ R7年 11月 25日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	20名	(回答者数)	17名
○従業者評価実施期間	R7年 11月 1日 ~ R7年 11月 25日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	15名	(回答者数)	11名
○事業者向け自己評価表作成日	R7年 12月 8日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	活動内容を職員同士で話し合い、立案している	活動内容がマンネリ化しないよう、毎月子どもの活動を職員同士で話し合い立案をしている。また季節ごとの制作や遊び等も積極的に取り入れている	外部研修にも参加し、知識を深めよりよい療育を実施できるようにする
2	微細、粗大運動を遊びの中に取り入れ、児童が楽しみながら取り組む事が出来るよう工夫している	何でも『遊びながら』『楽しみながら』取り組む事が出来るよう工夫している	外部研修にも参加し、知識を深めよりよい療育を実施できるようにする
3	作業療法士が常勤している体制。日常的に専門職が関わることで、子ども一人ひとりの発達段階や身体機能、感覚特性を踏まえた専門的な視点からの支援を行っている	制作活動や運動療育の場面では、作業療法士が子どもに寄り添いながら個別的に支援に入る体制を整えています。体の使い方や動作のコツを丁寧に伝えることで、無理なく「できた」という成功体験を積み重ねられるよう支援しています	継続的に取り組んでいきます

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	園庭が無い	園庭を作れる環境ではない為	バランスよく外遊びを取り入れていき、児童が適度に気分発散、遊具で遊ぶ経験を深める事が出来るよう致します。
2			
3			